

第53回 花巻市景況調査結果

(2023年4月～6月期)

花巻市景況調査

花巻市内中小企業100社を対象として4半期ごとに調査を実施。今回の回収率は98%。

DI値・「好転」「増加」の割合から「悪化」「減少」の割合を差し引いた数値。DI値プラスは「好転」、マイナスは「悪化」を表す

- 「業況判断DI 11.8ポイント増加」(▲27.7→▲15.9)
- 「売上額DI 13.6ポイント低下」(▲32.6→▲19.0)

業況判断DI ▲15.9 (全国平均▲10.8)

花巻市の業況判断DIは、今期全産業平均でマイナス幅が11.8ポイント縮小した。全国平均と比較すると5.1ポイント、東北平均(▲13.6)よりも2.3ポイント低い数値を示した。

産業別に見ると、建設業のみが横ばいを示したが、製造業、卸売業、小売業、サービス業は軒並み好転を示した。卸売業に関しては11.1ポイント増となり、マイナス域を脱した。また、今期と比較し、来期は一転して卸売業以外はマイナス幅を拡大させると予想している。

全国の調査結果では、全産業平均で2.9ポイントマイナス幅が縮小(▲13.7→▲10.8)した。産業別に見ると、製造業は2期連続でマイナス幅が縮小し、建設業、卸売業、小売業、サービス業のすべての産業で業況判断DIが上昇した。

東北経済産業局管内では、6県平均5.0ポイントマイナス幅が縮小(▲18.6→▲13.6)した。また、東北6県ではすべての県で好転を示した。岩手県に関しては全産業平均2.6ポイントマイナス幅が縮小(▲18.8→▲16.2)したが、東北6県内では2番目に悪い数値を示している。

(DI値比較)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
全国平均	▲10.4	▲9.0	▲9.3	▲22.1	▲4.0	▲10.8
東北平均	▲14.9	▲11.2	▲11.3	▲25.0	▲6.1	▲13.6
花巻市	▲5.6	▲26.3	▲0.0	▲20.0	▲27.8	▲15.9

業況判断(前期比)

年	2018		2019		2020		2021		2022		2023		前期増減	来期予想										
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6												
製造業	▲11.1	▲5.6	▲22.2	▲27.8	▲27.8	▲11.1	▲33.3	▲72.2	▲44.4	▲38.9	▲55.6	▲50.0	▲38.9	5.6	▲16.7	▲27.8	▲27.8	▲27.8	▲27.8	▲5.6	↗	22.2	▲16.7	
建設業	0.0	0.0	▲25.0	▲35.0	5.0	▲10.0	▲45.0	▲50.0	▲10.0	▲25.0	▲25.0	▲20.0	▲15.0	▲15.8	▲26.3	▲26.3	▲21.1	▲36.8	▲26.3	▲26.3	▲26.3	→	0.0	▲42.1
卸売業	▲44.4	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲11.1	▲33.3	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲11.1	▲55.6	▲11.1	▲55.6	▲11.1	▲22.2	0.0	▲11.1	44.4	▲11.1	▲11.1	0.0	↗	11.1	0.0
小売業	▲14.3	▲42.9	▲51.4	▲22.9	▲30.6	▲58.3	▲69.4	▲83.3	▲66.7	▲41.7	▲55.6	▲41.7	▲36.1	▲31.4	▲51.4	▲31.4	▲31.4	▲31.4	▲37.1	▲40.0	▲20.0	↗	20.0	▲34.3
サービス業	▲27.8	▲11.1	▲44.4	▲16.7	▲33.3	▲38.9	▲38.9	▲50.0	▲55.6	▲38.9	▲50.0	▲33.3	▲38.9	▲27.8	▲44.4	▲5.6	▲16.7	▲22.2	▲33.3	▲27.8	▲27.8	↗	5.5	▲33.3
全産業	▲19.5	▲18.6	▲35.3	▲22.7	▲19.6	▲30.3	▲44.0	▲62.2	▲44.2	▲31.1	▲48.3	▲31.2	▲36.9	▲16.1	▲32.2	▲18.2	▲19.4	▲15.9	▲27.7	▲15.9	▲15.9	↗	11.8	▲25.3

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

業況判断DI(全産業平均)



売上額DI ▲19.0 (全国平均▲4.6)

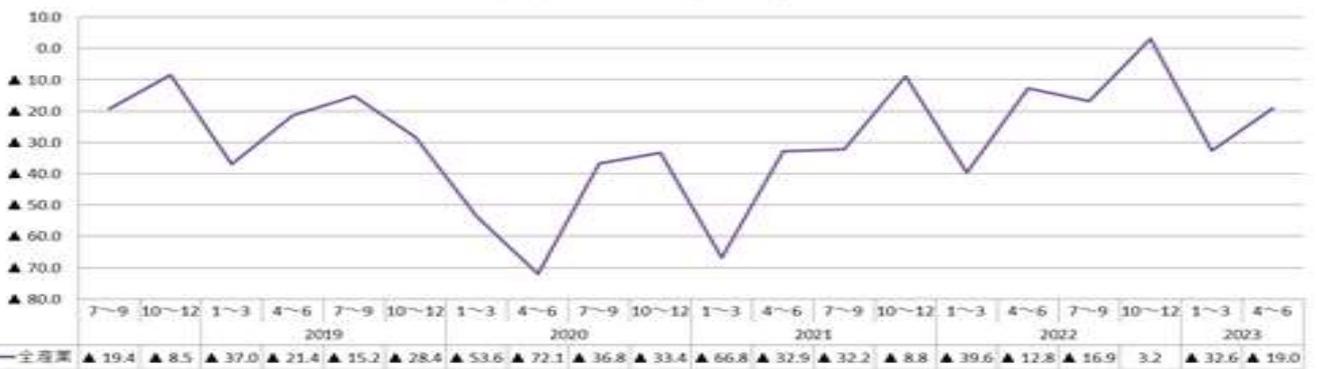
花巻市の売上額DIは、全産業平均13.6ポイント増加(▲32.6→▲19.0)し、マイナス幅が縮小した。産業別に見ると、建設業は横ばいを示したが、他のすべての産業はポイントが増加し、特に小売業は42.9ポイント増加した。来期の見通しはサービス業がプラスからマイナスに転ずると予想している。全国の調査結果では、全産業で2.0ポイント増加(▲6.6→▲4.6)し、2期連続してマイナス幅が縮小した。産業別に見ると、製造業、非製造業ともに2期連続マイナス幅が縮小した。

売上額DI(前期比)

年	2018		2019		2020		2021		2022		2023		前期増減	来期予想									
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6											
製造業	▲11.1	0.0	▲44.4	▲44.4	▲16.7	16.7	▲66.7	▲77.8	▲50.0	▲22.2	▲61.1	▲27.8	▲38.9	38.9	▲27.8	▲22.2	↗	5.6	▲11.1				
建設業	▲10.0	▲5.0	▲25.0	▲40.0	10.0	▲20.0	▲40.0	▲80.0	5.0	▲20.0	▲45.0	▲20.0	0.0	▲26.3	▲21.1	▲52.6	▲31.6	▲10.5	▲42.1	▲42.1	→	0.0	▲68.4
卸売業	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲11.1	0.0	▲22.2	▲33.3	▲66.7	▲44.4	▲22.2	▲77.8	▲33.3	▲66.7	0.0	▲33.3	33.3	0.0	33.3	▲33.3	▲25.0	↗	8.3	▲25.0
小売業	▲25.7	▲48.6	▲60.0	▲5.7	▲30.6	▲66.7	▲77.8	▲75.0	▲61.1	▲58.3	▲77.8	▲44.4	▲16.7	▲40.0	▲65.7	▲11.4	▲8.6	▲40.0	▲54.3	▲11.4	↗	42.9	▲31.4
サービス業	▲27.8	22.2	▲44.4	▲5.6	▲38.9	▲50.0	▲50.0	▲61.1	▲33.3	▲44.4	▲72.2	▲38.9	▲38.9	▲16.7	▲50.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲5.6	5.6	↗	11.2	▲27.8
全産業	▲19.4	▲8.5	▲37.0	▲21.4	▲15.2	▲28.4	▲53.6	▲72.1	▲36.8	▲33.4	▲66.8	▲32.9	▲32.2	▲8.8	▲39.6	▲12.8	▲16.9	3.2	▲32.6	▲19.0	↗	13.6	▲32.7

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

売上額DI(全産業平均)



経常利益DI ▲24.9 (全国平均▲21.9)

花巻市の経常利益DIは、全産業平均でマイナス幅が13.2ポイント縮小(▲38.1→▲24.9)し、3期ぶりに好転した。産業別では、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大したものの、製造業、小売業、サービス業はマイナス幅が縮小した。特にサービス業は38.9ポイント増となり、大幅な好転を示した。

来期は、卸売業、サービス業がマイナス域を脱するとの見通しである。

全国の調査結果では、11.0ポイント増加し(▲32.9→▲21.9)し、2期ぶりにマイナス幅が縮小した。

来期の見通しは全産業平均で3.5ポイント(▲21.9→▲18.4)増となり、2期連続で好転すると予想している。

経常利益DI(前年同期比)

年	2018		2019		2020		2021		2022		2023		前期増減	来期予想									
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6											
製造業	▲11.1	▲27.8	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲27.8	▲33.3	▲72.2	▲72.2	▲66.7	▲72.2	▲38.9	▲38.9	0.0	▲44.4	▲38.9	▲22.2	▲38.9	▲33.3	▲16.7	↗	16.6	▲11.1
建設業	▲25.0	▲5.0	▲15.0	▲20.0	5.0	▲10.0	▲35.0	▲70.0	▲35.0	▲40.0	▲35.0	▲40.0	▲20.0	▲42.1	▲31.6	▲42.1	▲36.8	▲52.6	▲42.1	▲47.4	↘	▲5.3	▲15.8
卸売業	0.0	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲33.3	▲55.6	▲44.4	▲11.1	▲44.4	▲44.4	▲55.6	▲22.2	▲22.2	▲11.1	22.2	11.1	▲11.1	▲12.5	→	▲1.4	0.0
小売業	▲37.1	▲54.3	▲40.0	▲31.4	▲41.7	▲61.1	▲58.3	▲77.8	▲69.4	▲50.0	▲66.7	▲52.8	▲47.2	▲37.1	▲45.7	▲40.0	▲28.6	▲51.4	▲48.6	▲31.4	↗	17.2	▲2.9
サービス業	▲44.4	▲5.6	▲27.8	▲27.8	▲38.9	▲50.0	▲61.1	▲61.1	▲72.2	▲88.9	▲66.7	▲38.9	▲44.4	▲38.9	▲55.6	▲33.3	▲38.9	▲44.4	▲55.6	▲16.7	↗	38.9	0.0
全産業	▲23.5	▲23.0	▲23.2	▲22.5	▲21.8	▲34.2	▲44.2	▲67.3	▲58.7	▲51.3	▲57.0	▲43.0	▲41.2	▲28.1	▲39.9	▲33.1	▲20.9	▲35.2	▲38.1	▲24.9	↗	13.2	▲6.0

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

経常利益DI(全産業平均)



資金繰りDI ▲11.6 (全国平均▲10.8)

花巻市の資金繰りDIは、全産業平均で15.0ポイントマイナス幅が縮小(▲26.6→▲11.6)し、2期ぶりに好転した。産業別に見ると、全産業でマイナス幅が縮小し、特に小売業に関しては31.4ポイント増で大幅にマイナス幅が縮小した。

また、来期はマイナスからゼロに転じた卸売業が再度マイナス域に転じると予想している。

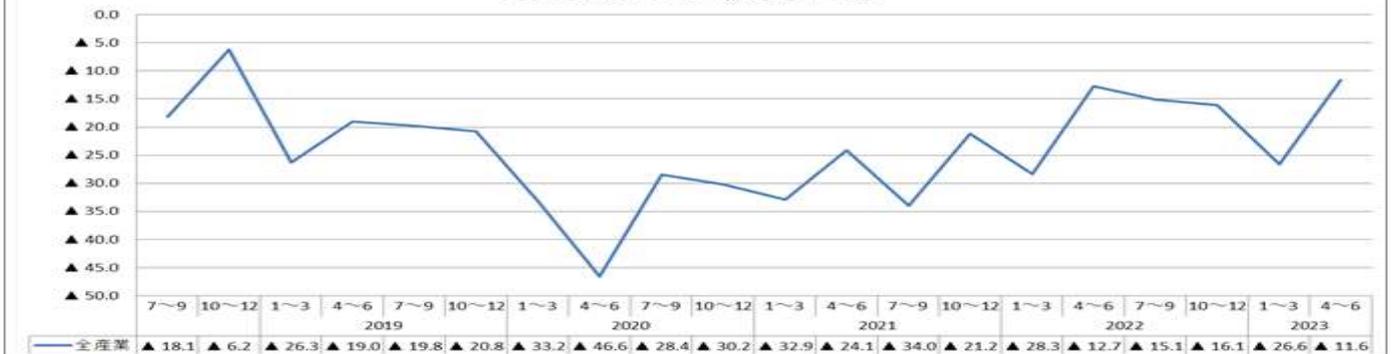
全国の調査結果では、全産業平均で2.4ポイント増加(▲13.2→▲10.8)し、2期連続してマイナス幅が縮小した。産業別に見ると、製造業、非製造業ともに2期連続してマイナス幅が縮小した。

資金繰りDI(前期比)

年	2018		2019				2020				2021				2022				2023		前期増減	来期予想	
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			
製造業	0.0	0.0	▲11.1	▲22.2	▲11.1	5.6	▲27.8	▲44.4	▲27.8	▲27.8	▲22.2	▲27.8	▲27.8	▲16.7	▲16.7	▲5.6	▲5.6	▲16.7	▲22.2	▲16.7	↗	5.5	▲11.1
建設業	▲15.0	0.0	▲25.0	▲25.0	▲10.0	▲15.0	▲30.0	▲55.0	5.0	▲15.0	▲20.0	▲15.0	▲20.0	▲10.5	▲21.1	▲21.1	0.0	▲21.1	▲31.6	▲15.8	↗	15.8	▲31.6
卸売業	▲22.2	▲11.1	▲22.2	▲11.1	▲11.1	▲22.2	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲11.1	▲22.2	▲22.2	▲44.4	▲11.1	▲22.2	11.1	▲11.1	11.1	▲11.1	0.0	↗	11.1	▲25.0
小売業	▲20.0	▲20.0	▲40.0	▲14.3	▲33.3	▲38.9	▲52.8	▲61.1	▲41.7	▲41.7	▲44.4	▲44.4	▲33.3	▲34.3	▲42.9	▲22.9	▲25.7	▲42.9	▲45.7	▲14.3	↗	31.4	▲28.6
サービス業	▲33.3	0.0	▲33.3	▲22.2	▲33.3	▲33.3	▲33.3	▲38.9	▲44.4	▲55.6	▲55.6	▲11.1	▲44.4	▲33.3	▲38.9	▲16.7	▲33.3	▲11.1	▲22.2	▲11.1	↗	11.1	▲16.7
全産業	▲18.1	▲6.2	▲26.3	▲19.0	▲19.8	▲20.8	▲33.2	▲46.6	▲28.4	▲30.2	▲32.9	▲24.1	▲34.0	▲21.2	▲28.3	▲11.0	▲15.1	▲16.1	▲26.6	▲11.6	↗	15.0	▲22.6

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

資金繰りDI(全産業平均)



従業員数DI ▲6.4 (全国平均▲2.6)

花巻市の従業員数DIは、4.2ポイントマイナス幅が拡大(▲2.2→▲6.4)した。

産業別に見ると建設業、サービス業はゼロからマイナスに転じ、製造業は横ばい、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大した。来期予想では、卸売業、サービス業がマイナス域を脱するとしている。

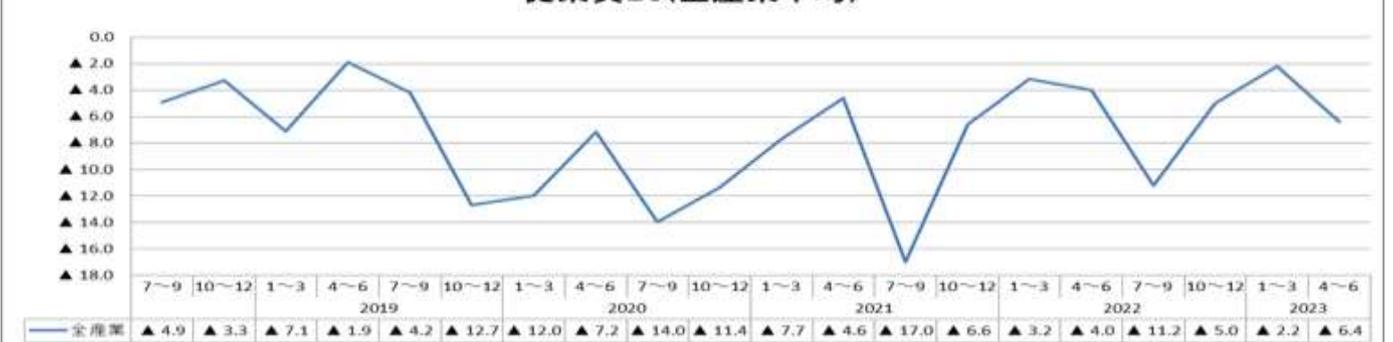
全国調査の従業員数DIは、全産業平均で2.5ポイント(▲5.1→▲2.6)マイナス幅が縮小した。

従業員数DI(前年同期比)

年	2018		2019				2020				2021				2022				2023		前期増減	来期予想	
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6			
製造業	▲16.7	▲5.6	▲11.1	0.0	5.6	▲27.8	▲16.7	▲5.6	▲33.3	▲16.7	▲22.2	▲16.7	▲27.8	▲16.7	▲5.6	▲5.6	▲5.6	0.0	0.0	0.0	→	0.0	▲11.1
建設業	▲5.0	0.0	▲5.0	10.0	▲10.0	▲5.0	▲10.0	▲25.0	▲20.0	▲10.0	▲5.0	5.0	▲10.0	▲5.3	▲10.5	5.3	▲5.3	0.0	0.0	▲5.3	↘	▲5.3	▲15.8
卸売業	0.0	0.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲11.1	11.1	0.0	▲11.1	▲11.1	▲11.1	▲33.3	0.0	0.0	0.0	22.2	▲22.2	▲11.1	▲12.5	→	▲1.4	0.0
小売業	▲2.9	0.0	▲2.9	▲2.9	0.0	▲2.8	▲11.1	0.0	0.0	▲2.8	0.0	0.0	▲8.3	▲5.7	▲5.7	▲2.9	▲28.6	▲2.9	▲5.7	▲8.6	→	▲2.9	▲2.9
サービス業	0.0	▲11.1	▲5.6	▲5.6	▲5.6	▲16.7	▲11.1	▲16.7	▲16.7	▲16.7	0.0	0.0	▲5.6	▲5.6	5.6	▲16.7	▲38.9	0.0	5.6	▲5.6	↘	▲11.2	0.0
全産業	▲4.9	▲3.3	▲7.1	▲1.9	▲4.2	▲12.7	▲12.0	▲7.2	▲14.0	▲11.4	▲7.7	▲4.6	▲17.0	▲6.6	▲3.2	▲4.0	▲11.2	▲5.0	▲2.2	▲6.4	↘	▲4.2	▲6.0

※前期差±3ポイント以内は横ばい(→)としている。

従業員DI(全産業平均)



設備投資動向

- ・ 今期設備投資を実施した企業の割合は、11.6%（前期 9.5%）であり3期ぶりに増加した。
- ・ 来期設備投資を計画している企業の割合は7.4%（前期 11.6%）となり、設備投資を見送る企業が増加した。
- ・ 全国調査結果では横ばい（16.7→16.7）を示した。しかし、来期は増加見込み（19.0）である。



直面している経営上の問題点

製造業	1位	原材料価格の上昇	36%	建設業	1位	材料価格の上昇	27%
	2位	原材料費・人件費以外の経費の増加	14%		2位	従業員の確保難	20%
	2位	需要の停滞	14%		3位	官公需要の停滞	13%
卸売業	1位	仕入単価の上昇	32%	小売業	1位	仕入単価の上昇	24%
	2位	人件費以外の経費の増加	21%		2位	人件費以外の経費の増加	16%
	3位	従業員の確保難	11%		3位	需要の停滞	11%
サービス業	1位	利用者ニーズの変化	25%				
	1位	仕入単価の上昇	25%				
	3位	需要の停滞	19%				

- ・ 全国調査における経営上の問題点の順位は以下の通り。

製造業	1位	原材料価格の上昇	38%	建設業	1位	材料価格の上昇	43%
	2位	需要の停滞	15%		2位	従業員の確保難	16%
	3位	従業員の確保難	8%		3位	官公需要の停滞	7%
卸売業	1位	仕入単価の上昇	34%	小売業	1位	仕入単価の上昇	29%
	2位	需要の停滞	18%		2位	消費者ニーズの変化	13%
	3位	従業員の確保難	9%		3位	需要の停滞	13%
サービス業	1位	材料等仕入単価の上昇	29%				
	2位	利用者ニーズの変化	12%				
	3位	従業員の確保難	11%				